

AIJ & JSCE

2009 建築のメッセージ

シンポジウム

「20年後の高松を考える」

～残すべき建築のありかたは・・・～

- 日時 2009年 3月 1日(日) 14:00～16:30(開場13:30～)
- 会場 高松丸亀町レッツホール
丸亀町壱番街 東館 4階
〒760-0029 高松市丸亀町1番地1 TEL.087-823-0001
- 定員 100名 受講料無料(当日受付先着順)

●パネラー

多田 善昭 : 多田善昭建築設計事務所
武智 和臣 : (有)アトリエA & A
滝川 祐子 : 香川大学技術補佐員

●コーディネーター

松島 学 : 香川大学工学部教授

●問合せ先

AIJ & JSCE 香川事業実行委員会
日本建築学会四国支部香川支所(担当:伊丹)
香川大学工学部安全システム建設工学科
TEL:087-864-2151・FAX:087-864-2188
E-mail:itami@eng.kagawa-u.ac.jp

戦災に焼かれ、すべてを失った高松。戦後、高度成長期にたくさんの建物を建て、また、壊し、その繰返しをしてきた高松。戦後60年たった今、量の建築でなく、質の建築が問われています。われわれは後世に残すべき資産を創ってきたのか。

当時、名建築と言われた香川県庁舎が、50年目の節を迎えようとしています。

この建物を今後どうするのか、どう利用するのかにこの答えがあると確信しております。高松の建築に何を残すべきなのか皆さんと議論したいと思います。

パネル展

「残したい環境・建築」

- 日時 2009年 3月 1日(日) 10:00～18:00
- 会場 高松丸亀町レッツホール
丸亀町壱番街 東館 4階
〒760-0029 高松市丸亀町1番地1 TEL.087-823-0001
パネル展・見学無料(当日受付)

●主催

(社)日本建築学会四国支部香川支所
(社)土木学会四国支部香川地区

●後援予定

香川県・高松市・香川県デザイン協会
香川大学工学部・(社)香川県建設業協会
(社)香川県建築士会・(社)香川県建築士事務所協会
(社)日本建築構造技術者協会四国支部
(社)日本建築家協会・NHK高松放送局
KSB瀬戸内海放送・朝日新聞
四国新聞社・建通新聞社・TJかがわ